

2021年度検討とりまとめ

幕張新都心で目指すモビリティの構想

1. 都市の魅力向上に資する交通サービス

- a. シェアサイクルや次世代型パーソナルモビリティなど多様なモビリティ普及（乗ることを楽しむ）
- b. 地域イベントや近隣施設と連携し移動のきっかけを創出

2. 地域の暮らしを支える交通サービス

- a. 幕張豊砂駅を中心とした交通機能の分散（混雑回避）
- b. 様々な交通手段に対してマナー啓発/ルール周知を徹底し安心・安全に移動できる

2021年度検討とりまとめ

あるべき姿

1-a) 「多様なモビリティの共存都市」

さまざまなユーザーがニーズにマッチした多様なモビリティを選択し、決められたルールの中で快適、安全を確保しながら移動が活性化された新モビリティ文化発信基地（モビリティ検討PT）

1-a) 環境に配慮した移動手段が提供されている

1-b) 幕張メッセ来訪者を対象とした、近隣飲食店や施設などにおける、目的/趣味嗜好に合う交流会や各種イベントなど、滞在時間増加や振興を目的とした街中マッチングサービス（サービス検討PT）

2-a) 来街者が少ない日時においては、地元の方々が安価かつ優先的に利用など、地元根ざすモビリティのサービス化（サービス検討PT）

2-b) 利用実績および順守具合に基づく、信用スコアなどによる利用者の区別。街滞在中を包含する保険の開発と、金額差異の設定（サービス検討PT）

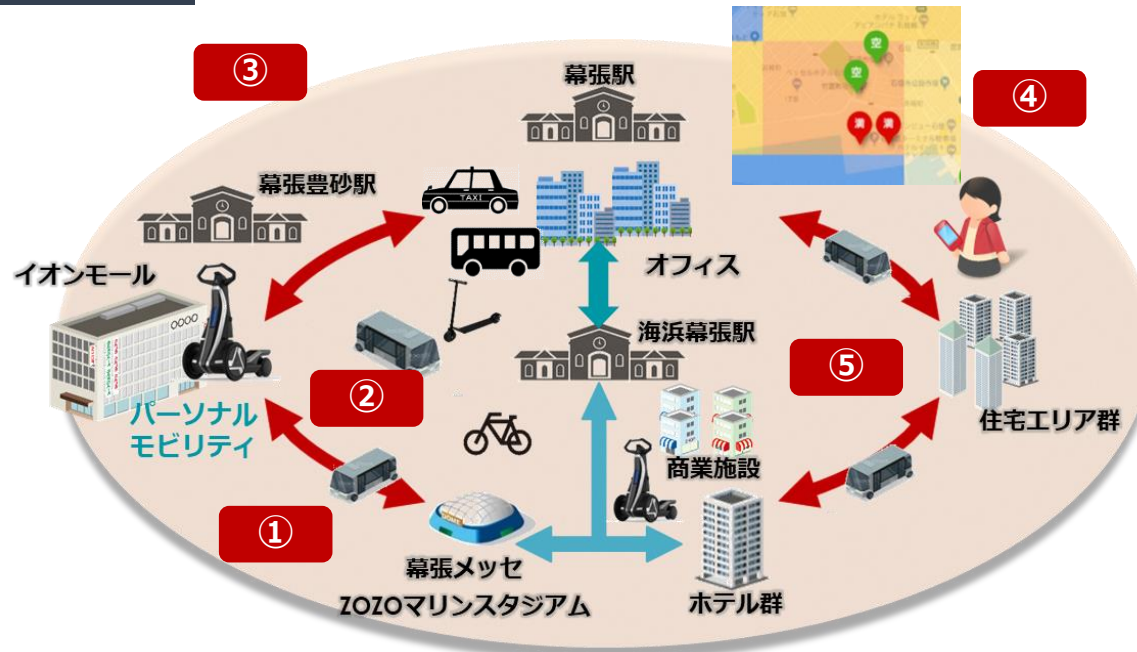
2-b) ユニバーサルデザイン（こども、高齢者、障害、外国人等）に配慮し、多くの方が安全に利用できる環境が整備されている（安全性検討PT）

2-b) 複数のモビリティが走行する実証実験にリスクベース視点でアセスメントが実施され、ヒヤリ・ハット/事故情報の収集・分析が実施されている（安全性検討PT）

2-b) 上記で得られた情報をベースにルール（マニュアル）の「適合性」「有効性」が検証されている（安全性検討）

今後（2022年度～）の検討事項

2023年度に目指す姿



- ① 幕張メッセやzozoマリンスタージアムなど街の魅力を活かした**移動のきっかけを創出**、住民や来街者に対して**周知できる仕組み**の提供
- ② **屋内外**におけるシームレスな移動手段の提供
- ③ 各種データを連携できる**PFの提供**
- ④ 新たな移動手段に対して、**安全安心**に移動できる仕組みの提供（withコロナ）満空情報、人流データ予測
- ⑤ 脱炭素に向けた交通手段等の提供（充電ポートの設置など）

今後（2022年度～）の検討事項

- ①-1. 実証実験アプリなど、様々な媒体を通して、来街者への街中サービス情報の提供による行動変容調査
- ①-2. 街中マッチングサービスイメージに基づく、イベント会場と連動した飲食店などでの場所提供や、その効果に関する調査
- ②-1. 様々なスローモビリティにアクセスが可能なモビリティハブを域内にきめ細かく配置する
- ②-2. 幕張地区の海側で観光目的ベースでの多様なモビリティハブを作り実証を通じてさまざまなユーザと多様なモビリティの導入における課題の深堀を行う
- ②-3. 海側での観光目的で新しいモビリティへのハードル「知らない、分からない、面倒くさい、怖い、恥ずかしい」を下げてスタート定着してきたら商業区住宅区といった生活に密着した地区に展開していく
- ③-1. 地域の情報をメタ空間等でリアルに表示する、デジタルマップの整備
(チャットポット機能等を連動する事で、移動ニーズや課題等の来訪者のインサイトを取得して分析する)
- ④-1. 街中滞在時をカバーする保険サービスの検討（リスク分析などを含む）
- ④-2. 当該コンソーシアムで実施される実証実験に積極的に参画し、リスクアセスメントの実施、ヒヤリ・ハット/事故情報の収集・分析を行う
- ④-3. 地域住民アンケートを実施し、アンケート結果から得られた情報（課題等）をベースにルール（マニュアル）の改善を図る
- ⑤-1. 自家用車から公共交通利用への転換促進可能性に関する検討
(駐車場契約を持つ世帯への、公共交通利用促進施策の提供など)